

## 《第一回家庭教育学級をふりかえって》

家庭教育学級委員 光永・佐藤

7月10日(水)に第一回家庭教育学級が開催されました。

今回は、「親から子へ伝えたい性教育」をテーマに杉山産婦人科助産師の田村有紀子様にご講演頂きました。たくさんお話いただいた中から、ごく一部ですがご紹介いたします。

### <家庭で伝える性教育って何？>

- 家庭で教えていくのは、男女かまわず母親から伝えていくのがよい！
- 『赤ちゃんは、かわいいね』と思う気持ちを子どもに伝えることが大事
- 赤ちゃんにふれる、母親にふれることでの安心感が性教育の始まり
- 生きていることはいい事！
- 性を知ること、自分と向き合い大切にすることができる

### <なぜパンツをはくのか？>

子ども達へ尋ねてみましょう！

↓将来、子供ができるために大事な所を守るため

そして、その大事な所は 大切な人 にしか見せてはいけない！

↓

親、きょうだい

- パンツの大切さを知ること、性犯罪を防ぐことにもつながる
- 小さい時から自分の体の大切さを知ることが大事
- 自分たちで、男子・女子の違いを考えるようになる ⇒

### <小学校での教育の現状>

- 学校では、四年生の終わりぐらいに男女一緒に話を聞く
- 赤ちゃんの人形を実際に子供たちに抱かせる
- 先生が妊婦服を着て赤ちゃんが子宮で育ち生まれることを話す

### < 男女の体の違い >

#### 女子

→卵巣は冷す事で機能が低下する。冷えはNG。  
だから卵巣は体の中にある。お腹を冷やさない  
☆足首の内側(くるぶし)を温めると、おなか、骨盤付近が温まるので、女性は温めるとよい

#### 男子

→精巣は熱に弱いので発熱すると大変。高熱はNG。  
だから精巣は体の外にある。  
☆熱が出たらタマ(陰嚢部)を冷すとよい

### 問題

女性の卵巣から卵子が排出されることを(1)という

男性の精巣で作られた精子が精液にまざり精管を通り排出することを(2)という

卵子と精子が卵管で出逢い結合することを(3)といい、子宮内に(4)することで妊娠する

(1)排卵 (2)精通 (3)受精 (4)着床

### <まとめ>

男の子も女の子もみんな母から生まれてきました。赤ちゃんを愛情深く抱きしめ、育てることから性教育は始まっています。母の言葉で命の大切さをぜひ伝えてください。

精子の数約3億個、卵子の数約400個あり、あなたが生まれた確率は20兆分の1！

### 【奇跡的な確率で生まれてきたあなたは特別な存在】

であることを、少しでも早く柔らかい言葉で伝えることから始めましょう。

コウトリはいません。性についての質問は素直に答え、正しく伝えることが大事です。